

川口市下水処理場流入水
流出水等水質試験成績報告書

(昭和 41 年 3 月)

建設省土木研究所

本報告書は川口市の依頼において実施したものである。
依頼内容は、川口市領家下水処理場に流入する下水、
最初沈殿池の流出口、エプロンセーラーの流出口の水質試
験を行うものであった。この水質試験は下水処理場管理
担当者から提供したサンプルに基づいて実施したものであり、
測定結果は別表に示す。

本実験結果について年間の平均、最大、最小値について
取りまとめることを表-1に示す。また一年間の測定結果を因示
する図-1に示す。

この結果より流入水のBODは相当低く平均63ppm
最大値でも159ppmであり、水質汚染の普及が少く、
これを示している。しかし沈殿池前で消化槽脱離液
が流入したため、そのBODは非常に高くなり、これが処理
効果に悪影響を及ぼしている。また一部の期間では全量
エプロンセーラーに逆水せり、沈殿池のものを処理したものを
エプロンセーラー処理水と混じって流出させたため、塩素

薬品選和池内の水質（おかしな河川放流水を質）は一部の間
 期間には極端に低下する。これは屎尿消処理脱離液を
 ホンポン井にもとすためであり、雨水は一定の最初状態池を
 通過させるが、雨天時には処理効率が低下し、晴天時
 も極端に水質が悪化している脱離液混合の下水を状
 態放流させることは河川の水質保全のうえからも対策がた
 かい。こうは充分な施設の改良を必要とする。

また本処理場の応入水、脱離液等の計量装置は不
 備であり、改良または新設を必要とする。こゝからしては
 エアロアセレータの BOD 負荷を算出し、^{エロアセレータ} 充分な管理は
 出来ない。また水質調査を行っても、このデータで基として
 運転出来得ないと思われる。

以上、奥から次のような提案を行うこととした。

- 1) 脱離液は脱離液貯留タンクを作って貯留し、一定量
最初状態池を通過させては直接
 づつ、エアロアセレータの応入させること。この脱離液
 貯留タンクは混合、曝気を行うため、材料費が

エアレータの設置が望ましい。特に脱糞流のエアロアクセラ

タ流入量の常時一定量となるように操作を行うこと。

脱糞流の計量を行う。その結果を自動記録装置が望ましい。

2) 屎尿消滅槽は過剰投入を行わせないよう、充分に留意すること。

3) エアロアクセラタは2カ所が均等に流入させるよう配管を改良すること。カートラムで均等に操作を行うことは不可能である。

4) エアロアクセラタ前流入量計量装置は精度の高い測定を行うよう改良を行い、自動記録装置と克爾させること。

別 表

試 驗 成 績

報告年、月、日

報告責任者

採取月日 昭和 20 年 4 月 12 日 天候 前日

[illegible]

試 驗 成 績

報告年月日

報告責任者

採取月日 昭和 40 年 5 月 19 日 天候 前日 晴 当日 晴

採取 時 間	所 取 地 点	沈砂池			新初濾池			工P09702-9- 2-5		高根地埋法 飲用水 水質基準
		9	12	15	9	12	15	9	12	
試 料 名		地下水			沈砂下水			処理水		
水 質 種 別										
色 度		18.0	17.8	18.0	18.0	18.8	18.8	18.8	19.8	
透 明 度		2.5	2.8	2.5	1.0	1.5	1.5	2.8	2.4	
臭 気										
P H 値		(7.14)	(7.01)	(6.92)	(6.74)	(6.87)	(6.93)	(7.19)	(7.28)	5.8 ~ 8.6
高 色 残 留 物		322	332	301	274	217	258	517	315	
高 熱 残 留 物										
高 熱 溶 出 物		127	137	126	524	354	404	156	159	
溶 解 性 物 質		281	297	204	523	512	557	418	457	
浮 遊 物		41	35	57	441	307	301	59	58	70以下
溶存酸素 (D.O.)										
酸素飽和百分率										
B. O. D.		21	23	27	255	232	326	47	18	20以下
C. O. D.		21	17	19	150	120	129	31	30	
総 窒 素										
アモニア性窒素										
アルブイノイド性窒素										
亜硝酸性窒素										
硝酸性窒素										
有機性窒素										
塩素イオン										
一 次 消 費 量										
油										
A. B. S.										
一 般 有 機 質										
大 腸 菌 数										3,000 以下
備 考										

注 水質試験方法及び成績の数値は下水試験方法による

試 驗 成 績

報告年月日

報告責任者

採取月日 昭和 40 年 6 月 10 日 天候 前日 晴

採取	場所	7	12	15	9	12	15	9	12	試験項目
試料名	地下水				現散下水			処理水		
温度		19.0	18.3	18.5	20	19.5	19.0	19.8	20	
透明度		6.8	9.0	5.5	1.8	1.5	1.5	9.5	11	
色相										
臭気										
P H 値		(6.9)	(6.86)	(6.86)	(6.95)	(7.02)	(6.93)	(7.35)	(7.3)	5.8 ~ 8.6
蒸発残留物		332	348	400	549	553	673	402	403	
無機残留物										
強熱減量		32	93	123	175	194	264	40	73	
溶解性物質		261	293	271	354	355	408	351	325	
浮遊物		71	55	109	195	198	285	51	58	70以下
溶存酸素(D.O.)			0.1	0.1		0.0	0.0		1.7	
酸堿中和百分率										
B. O. D.		28	53	75	187	201	277	30	28	20以下
C. O. D.		22	25	32	96	90	113	18	16	
総窒素										
アンモニア性窒素										
アルミニウム性窒素										
亜硝酸性窒素										
硝酸性窒素										
有機性窒素										
塩素イオン										
コーエン消費量										
油類										
A. B. S.										
一般細菌数										3,000 以下
大腸菌群数										
備考										

注 水質試験方法及び成績の数値は下水試験方法による

報告責任者

採取時期	15	15	15						A	高砂地帯法 放流水 水質基準
試料名	脱離液	脱離液	脱離液							
水温	19.8	19	19.8							
透明度	11.2		11							
色相										
臭気										
P H 値	(7.32)	(6.57)	(7.29)							5.8 ~ 8.6
溶存酸素量	264	14300								
強熱残留物										
強熱減量	36	7100								
溶解性物質	34									
浮遊物	24									70以下
溶存酸素(D.O.)	1.3		4.5							
酸素飽和百分率										
B. O. D.	28	5200	5.4							20以下
C. O. D.	17	3600	1.6							
陰イオン										
陽イオン										
塩素消費量										
曲線										
A. B. S.										
一般細菌数										
大腸菌群数										2,000 以下
備考										

注 水質試験方法及び成績の数値は下水試験方法による

報告責任者

調 時	間	沈砂池			最新の沈砂池			工場排水		高級処理法 取、流、水 水質基準
試料名		下水			沈殿下水			処理水		
水温		23.5	22.7	21.3	22.5	23	22	24.5	24.0	
透視度		5.0	9.7	5.7	8.7	6.8	5.0	10.5	10	
色相										
臭気										
P H 値		6.7(6.8)	6.8(6.8)	6.7(6.7)	6.8(6.8)	6.8(6.9)	6.8(6.8)	6.9(7.0)	6.9(7.0)	5.8 ~ 8.6
蒸発残留物		252	289	270	302	276	226	334	297	
硫酸残留物										
硫酸濃量		102	111	139	137	126	159	140	137	
溶解性物質		197	237	305	241	244	263	235	255	
浮遊物		55	52	65	61	32	63	39	42	70以下
溶存酸素(D.O.)		0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	1.6	
酸素飽和百分率										
B . O . D .		2.7	8.6	17	25	27	17	10	11	20以下
C . O . D .		11	12	20	13	13	17	7.2	5.2	
総窒素										
アンモニア性窒素										
アルミニウム性窒素										
亜硝酸性窒素										
硝酸性窒素										
有機性窒素										
塩素イオン										
コーロidal量										
油類										
A . B . S .										
一般細菌数										
大腸菌回数										3,000以下
備考										

注　水質試験方法及び成績の数値は下水試験方法による

試 驗 成 績

報告年月日

報告責任者

採取月日 昭和 40 年 7 月 16 日 天候 前日 晴

採取時期	場所	脱離液	集溜池	放流水	放流水	放流水	高板処理法 放流水 水質基準
試料名		脱離液	集溜池	放流水	放流水	放流水	
水温	23.7	23	22.5	23.5	23.5	26.3	
透視度	11			8	8.8	10.8	
色相							
臭気							
pH値	6.8(6.9)	6.7	6.6	6.9(6.9)	6.9(7.0)	6.9(6.85)	5.8 ~ 8.6
蒸発残留物	299	1097	1173	338	326	348	
硫酸残留物							
硫酸濃度	151	490	546	143	149	149	
溶解性物質	254			250	273	231	
浮遊物	45			88	53	117	70以下
溶存酸素(D.O.)				1.9	2.2	2.4	
酸素飽和百分率							
B. O. D.	10	298	294	8.8	3.3	6.7	20以下
C. O. D.	5.8	192	197	13	11	9.3	
総窒素							
アンモニア性窒素							
アルブミノイド性窒素							
亜硝酸性窒素							
硝酸性窒素							
有機性窒素							
塩素イオン							
ロー素消費量							
油類							
A. B. S.							
一般細菌数							
大腸菌群数							3,000以下
備考							

注 水質試験方法及び成績の数値は下水試験方法による

試 驗 成 績

報告年月日

報告責任者

採取月日 昭和 40 年 8 月 31 日 天候 前日 晴 当日 晴

採取 時 間	現砂池			最初現砂池			工所内池			高根池 放流水 水質基準
	9	12	15	9	12	15	9	12		
試 料 名	地下水			現砂地下水			処理水			
水 温	20	20.5	21.5	20.9	20.7	22	21.8	22		
透 視 度	9.0	9	7	5	5.5	6	20	19		
色 相										
臭 気										
P H 値	7.06(6.40)	7.07(6.05)	7.07(6.2)	7.11(6.5)	7.1(5.85)	6.5(7.13)	7.18(6.5)	7.15(6.45)	5.8 ~ 8.6	
腐 敗 残 留 物	424	381	411	463	492	494	362	381		
強 熱 残 留 物										
強 熱 減 量	118	90	116	122	135	138	110	122		
溶 解 性 物 質	368	317	333	374	376	412	338	343		
浮 遊 物	56	64	78	89	116	92	24	38	70以下	
溶 存 酸 素 (D.O.)	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	1.9	2.0		
酸 素 飽 和 率										
B. O. D.	49	51	71	46	79	65	23	17	20以下	
C. O. D.	24	25	33	34	42	45	10	8.3		
総 窒 素										
アンモニア性窒素										
アルブミノイド性窒素										
亜硝酸性窒素										
硝酸性窒素										
有機性窒素										
塩素イオン										
一 次 消 費 量										
油 量										
A. B. S.										
一 般 細菌数										
大 腸 菌 数										3,000 以下
備 考										

注：水質試験方法及び成績の数値は下水試験方法による

試 験 成 績

報告年月日

報告責任者

採取月日 昭和 40 年 8 月 31 日 天候 晴

試 取	個 所	15	9	15	9	12	15	15	高 級 純 理 法
試 料 名	脱離液	脱離液	脱離液	脱離液	脱離液	脱離液	脱離液	脱離液	放流水
水 温	22	22.3	22.5	21.8	22	22	22	22	水 質 基 準
透 視 度	21			20	19	20	8		
色 相									
臭 気									
P H 値	7.23(6.25)	7.08(6.54)	7.03(6.95)	7.17(6.3)	7.17(6.6)	7.23(6.45)	6.74(6.05)		5.8 ~ 8.6
蒸 発 残 留 物	398	2316	2564	385	364	379	412		
強 熱 残 留 物									
強 熱 減 量	118	898	1060	122	119	163	119		
溶 解 性 物 質	384			362	347	360	382		
浮 遊 物	14			23	17	19	30		70以下
溶存酸素(D.O.)	1.9			1.8	3.6	3.9	6.0		
酸 素 飽 和 百 分 率									
B. O. D.	26	890	1007	29	1.9	1.1	60		20以下
C. O. D.	9.6	349	388	21	9.3	1.0	42		
総 窒 素									
アミノ酸性窒素									
アルミノイド性窒素									
亜硝酸性窒素									
硝酸性窒素									
有機性窒素									
窒素イオン									
酸素消費量									
油 質									
A. B. S.									
一般細菌数									3,000 以下
大腸菌群数									
備 考									

注 水質試験方法及び成績の数値は下水試験方法による

報告責任者

	採取時間	場所	沈砂池 10	初期沉淀池出口 14	二次沉淀池出口 10	異物除去槽出口 14	脱硝反応槽入口 10	脱硝反応槽出口 14	高濃度処理後排水質基準
試料名			下水水	沈殿下水	処理水		脱硝反応液		
水温			21.5	21.5	22	22	23.3	23	22.5
透視度			9.5	5	5.5	8.5	9.5	10	
色相									
pH値			6.79(6.60)	7.0(6.72)	6.9(6.72)	6.97(6.75)	7.32(7.1)	7.26(7.0)	7.1(7.0) 7.11(7.0)
溶存残留物質			417	402	464	511	433	438	2656 1909
強熱残渣量			134	155	154	192	130	134	1249 785
溶解性物質			362	307	337	379	354	339	
浮遊物質			115	95	127	132	79	99	
溶存酸素(D.O.)			0.5	0.0	0.0	0.0	Z	Z-1	
酸素飽和百分率									
B.O.D.			41	73	71	92	11	12	935 733
C.O.D.			20	32	32	41	11	11	421 250
窒素類									
アンモニア性窒素									
アルブミンノイド性窒素									
亜硝酸性窒素									
硝酸性窒素									
有機性窒素									
塩素イオン									
ソーダ消費量									
油類									
A.B.S.									
一般細菌数									3,000以下
大腸菌群数									
備考									

注　水質試験方法及び変換の数値は下水試験方法による

報告責任者

採 取	個 所	時 間	水 質	水 質	水 質
	千葉県和歌山県	10	19	10	"
試料名	放流水	放流水	放流水	放流水	放流水
気 味					
水 温	23	23	21.5		
透 視 度	6.5	9.7	5.5		
色 相					
臭 気					
P H 値	7.2(7.0)	7.23(6.92)	6.67(6.39)		5.8 ~ 8.6
蒸発残留物	445	418	487		
強熱残留物					
強熱減量	130	100	151		
腐敗性物質	328	352	373		
浮遊物	97	66	114		70以下
溶解酸素(D.O.)	2.2	6.5	0.3		
酸素飽和百分率					
B. O. D.	35	22	27		20以下
C. O. D.	21	14	31		
総窒素					
アンモニア性窒素					
アルブミノイド性窒素					
亜硝酸性窒素					
硝酸性窒素					
有機性窒素					
塩素イオン					
酸素消費量					
曲 線					
A. B. S.					
一般細菌数					
大腸菌数					3,000以下
備考					

注 水質試験方法及び成績の数値は下水試験方法による

試 験 成 績

報告年月日

報告責任者

採取月日 昭和 40年 10月 29日 天候 前日 晴

採取場所	現地水	14	現地水	14	3709705-9	14	現地水	14	高純処理法 放流水 水質基準
試料名	下水		下水		下水		下水		
温度	18	18	18	18	18	18.7	18.5	18.5	
透明度	7	8	6	4	10	10			
色相									
臭気									
pH値	(6.6)	(6.7)	(6.83)	(6.9)	(6.98)	(6.95)	(7.1)	(7.18)	5.8 ~ 8.6
蒸発残留物	422	356	429	534	448	431	3256	4026	
強熱残留物									
強熱減量	105	86	120	148	113	99	1266	1664	
溶解性物質	338	294	328	415	369	327			
浮遊物	84	62	101	119	79	104			70以下
溶解酸素(D.O.)	6.0	6.4	6.0	6.0	2	2.3			
酸素飽和百分率									
B. O. D.	85	45	85	137	22	17	1436	1435	20以下
C. O. D.	32	24	35	43	19	12	476	524	

総 量									
アンモニア性窒素									
アルブミンノイド性窒素									
亜硝酸性窒素									
硝酸性窒素									
有機性窒素									
硫酸イオン									
ホー素消費量									
油 類									
A. B. S.									
一般細菌数									
大腸菌群数									3,000 以下
備 考									

注 水質試験方法及び成績の数値は下水試験方法による

報 告 年 月 日
報 告 責 任 者

採取月日 昭和 46 年 10 月 29 日 天候 前日 晴

注 水質試験方法及び成績の数値は下水試験方法による。

試 験 成 績

報告年月日

報告責任者

採取月日 昭和 40 年 11 月 30 日 天候 前日 当日 (曇り)

採取場所	14	14	14	14	14	14	高級処理法 放流水 水質基準
試料名	地下水	沈殿下水	処理水	脱離液	排水	排水	
温度	14	14.5	15.5	14.5	15.5	15.5	
透明度	6	3	2.5		8		
色相							
臭気							
P H 値	(6.5)	(6.87)	(7.3)	(7.13)	(7.1)		5.8 ~ 8.6
汚濁残留物	309	446	219	2299	429		
強熱残留物							
強熱減量	89	127	86	924	99		
溶解性物質	270	356	382		384		
浮遊物	39	90	37		45		70以下
溶解酸素(D.O.)	0.3	0.0	3.4		5		
酸素飽和百分率							
B. O. D.	40	92	22	904	11		20以下
C. O. D.	12	26	13	376	13		
総窒素							
アンモニア性窒素							
フルボミノイド性窒素							
亜硝酸性窒素							
硝酸性窒素							
有機性窒素							
塩素イオン							
酸素消費量							
油類							
A. B. S.							
一般細菌数							3,000 以下
大腸菌数							
備考							

注 水質試験方法及び成績の数値は下水試験方法による

試 験 成 績

報告年月日

報告責任者

採取月日 昭和 40 年 12 月 20 日 天候 前日 晴 当日 晴

採取場所	現 狀 水	最初沈降後水	10分沈降後水	脱離液	放流水	高級処理放流水
時間	14	14	14	14	14	
試料名	生水	沈降後水	処理水	脱離液	放流水	
温度	13.3	13.2	13	13	13	
透明度	3	2	11		11.5	
色相						
臭気						
P H 値	(7.0)	(7.09)	(7.2)	(7.03)	(7.2)	5.8 ~ 8.6
蒸発残留物	521	682	888	3423	923	
強熱残留物						
強熱減量	159	165	114	590	124	
溶解性物質	393	417	710		338	
浮遊物	128	265	178		585	70以下
溶解酸素(D.O.)						
酸素飽和百分率						
B. O. D.	158	165	19	1414	17	20以下
C. O. D.	40	52	17	438	18	
配 置 業						
アンモニア性窒素						
アルミニウム性窒素						
亜硝酸性窒素						
硝酸性窒素						
有機性窒素						
塩素イオン						
コーク消費量						
油 類						
A. B. S.						
一般細菌数						3,000 以下
大腸菌数						
備 考						

注 水質試験方法及び成績の数値は下水試験方法による

試 験 成 績

報告年月日

報告責任者

採取月日 昭和 41 年 / 月 11 日 天候 前日 晴 当日 晴

採取	場所	現 状	現 状	現 状	現 状	現 状	現 状	現 状	現 状	現 状
時間		10	14	10	14	10	14	10	14	
試 料 名		下水	下水	下水	下水	下水	下水	下水	下水	
試 料 量										
水 質		13	13	13.5	13.5	13.2	14	12.5	13	
透 視 度		7	6.5	2.2	2.5	5	5			
色 相										
臭 気										
P H 値		(6.8)	(6.8)	(7.21)	(7.24)	(7.43)	(7.51)	(7.3)	(7.45)	5.8 ~ 8.6
高 熱 残 留 物		485	495	828	769	612	622	2826	2975	
強 熱 残 留 物										
強 熱 減 量		181	227	298	272	76	85	1070	1067	
溶 解 性 物 質		347	397	611	590	524	537			
浮 遊 物		138	98	217	178	88	85			70以下
溶解酸素(D.O.)		0.8	0.4	0.0	0.0	1.7	1.2			
酸素飽和百分率										
B. O. D.		108	159	357	353	224	64	844	1168	20以下
C. O. D.		34	44	92	88	88	38	440	450	
総 窒 素										
アンモニア性窒素										
アルブミンノイド性窒素										
亜硝酸性窒素										
硝酸性窒素										
有機性窒素										
塩素イオン										
ソーナ価										
油 質										
A. B. S.										
一般細菌数										3,000以下
大腸菌群数										
備 考										

注 水質試験方法及び成績の数値は下水試験方法による

試 驗 成 績

報告年月日

報告責任者

採取月日 昭和 41 年 1 月 11 日 天候 晴 時

採取場所	深沢川	荒川	荒川	高野川
採取時間	10	14	14	
試料名	取水	取水	取水	
気温				
水温	13	13.8	8.5	
透明度	4.5	5	9.7	
色相				
臭気				
P H 値	(7.4)	(7.4)	(6.4)	5.8 ~ 8.6
蒸発残留物	980	601	980	
強熱残留物				
強熱減量	239	96	239	
溶解性物質	849	528	849	
浮遊物	131	73	131	70以下
溶解酸素(D.O.)	3.1	0.9	0.1	
酸素飽和百分率				
B. O. D.	34	29	12	20以下
C. O. D.	38	28	17	
窒素				
アンモニア性窒素				
アルブミノイド性窒素				
亜硝酸性窒素				
硝酸性窒素				
有機性窒素				
塩素イオン				
コ-炭素量				
油				
A. B. S.				
一般細菌数				3,000 以下
大腸菌数				
備考				
注 水質試験方法及び成績の数値は下水試験方法による				

試 験 成 績

報告年月日

報告責任者

採取月日 昭和 41 年 2 月 12 日 天気 前日 晴

採取場所	深沢沢		最和沢沢		595726-9-		脱離液		高級処理法
時間	16	15	10	15	10	15	10	15	放流水
試料名	生水		沈殿水		処理水		脱離液		水質基準
温度									
水温	13.5	13	14.2	12	14.5	14	13	12.5	
透明度	3.5	4	1.2	1.5	3	2.7			
色相									
臭気									
P H 値	7.07(6.7)	7.19(6.7)	7.22(7.0)	7.09(7.02)	7.29(7.12)	7.33(7.05)	7.02(6.8)	7.07(6.7)	5.8 ~ 8.6
蒸発残留物	455	437	781	905	489	604	16737	18125	
強熱残留物				-					
強熱減量	150	140	321	367	149	178	9200	9905	
溶解性物質	348	329	477	584	369	440			
浮遊物	107	98	304	321	120	164			70以下
溶存酸素(D.O.)	0.7	0.1	0.0	0.0	1.8	0.0			
酸素飽和百分率									
B. O. D.	75	82	148	149	55	65	2930	3860	20以下
C. O. D.	36	36	88	101	35	45	2110	2190	
総窒素									
アンモニア性窒素									
アルブミノイド性窒素									
亜硝酸性窒素									
硝酸性窒素									
有機性窒素									
硫酸イオン									
カルシウム濃度									
油 類									
A. B. S.									
一般細菌数									3,000 以下
大腸菌数									
備考									

注 水質試験方法及び成績の数値は下水試験方法による

試 験 成 績

報告年・月・日

報告責任者

採取月日 昭和 41 年 7 月 12 日 天候 前日 晴

採取場所	池田川	五ノ川	五ノ川	商標処理法 排水 水質基準
採取時間	10	15	15	
試料名	放流水	放流水	放流水	
色				
臭				
PH 値	7.11(6.90)	7.57(7.41)	6.93(6.41)	5.8 ~ 8.6
溶存酸素量	6.52	6.43	5.33	
溶解性物質	237	189	124	
浮遊物	267	186	71	70以下
溶存酸素(D.O.)	0.8	0.6	0	
酸素飽和百分率				
B. O. D.	965	558	33	20以下
C. O. D.	53	45	23	
総窒素				
アンモニア性窒素				
アルブミノイド性窒素				
亜硝酸性窒素				
硝酸性窒素				
有機性窒素				
塩素イオン				
酸素消費量				
油				
A. B. S.				
一般細菌数				3,000 以下
大腸菌群数				
備考				
注 水質試験方法及び成績の数値は下水試験方法による				

報告責任者

採取月日 昭和 4/ 年 3 月 3/ 日 天候 前日 曇り

注 水質試験方法及び成績の数値は下水試験方法による

(/)

表-1

昭和40年度 試験成績表

(数値はppm)

採水場所	試験方法	年間平均	最大値		最小値	
			月日時	試験値	月日時	試験値
泥砂池	DO	0.27	1.11.10	0.8		0
	TS	388	12.20.14	521	7.16.9	252
	DS	309	1.11.14	397	7.16.9	197
	SS	78	1.11.10	138	5.19.12	35
	COD	28	1.11.14	44	7.16.9	11
	BOD	63	1.11.14	159	7.16.9	7.7
泥澄池出口	DO	0				
	TS	635	5.19.9	974	7.16.12	276
	DS	430	1.11.10	611	7.16.9	241
	SS	199	5.19.9	441	7.16.12	32
	COD	664	5.19.9	154	7.16.12 ⁹	13
	BOD	1788	5.19.9	455	7.16.15	17
ITD T7セー 出口	DO	1.92	11.30.14	3.4		0
	TS	498	12.20.14	888	7.16.12	297
	DS	422.6	12.20.14	710	7.16.15	254
	SS	75.6	12.20.14	178	8.31.15	14
	COD	238	1.11.10	88	7.16.12	5.2
	BOD	34.5	1.11.10	224	7.16.15 ⁹	10
脱離液 返送管	DO					
	TS	5,512.2	2.12.15	18,125	7.16.9	1,097
	DS					
	SS					
	COD	9308	6.10.15	3,600	7.16.9	192
	BOD	1,808.8	6.10.15	5,200	7.16.15	294

(2)

採水場所	試験方法	年間平均	最大値		最小値	
			月日時	試験値	月日時	試験値
薬品混和池 出口	DO	3.32	9.9.14	6.5	2.12.15	0.6
	TS	547	1.11.10	980	7.16.12	326
	DS	398	1.11.10	849	7.16.15	231
	SS	1484	12.20.14	585	8.31.12	17
	COD	225	2.12.10	53	7.16.15	93
	BOD	91.9	2.12.10	965	8.31.15	1.1
芝川水	DO	0.74	7.16.9	1.4		0
	TS	470	1.11.14	980	7.16.9	225
	DS	388	1.11.14	849	7.16.9	140
	SS	823	1.11.14	131	8.31.15	30
	COD	23	8.31.15	42	7.16.9	11
	BOD	238	8.31.15	60	7.16.9	33

図-1

昭和40年度 試験成績一覧図

